

授業で勝負・先手必勝の挨拶・心を耕す読書、そして高き志を



中 き ざ は し

金ケ崎町立金ケ崎中学校
平成30年度校報
第26号
平成30年10月10日発行
文責：遠藤

赤い羽根共同募金 街頭ボランティア



秋風が吹く頃、「赤い羽根共同募金」が始まります。今年度も町社会福祉協議会より同募金活動の街頭ボランティアに本校生徒への要請がありました。このボランティア活動には生徒会執行部等の皆さんが快く賛同し参加しました。10月

3日(水)の夕方5時から町内大型スーパーマーケットの出入り口で、「赤い羽根！共同募金にご協力ください！！」と



行き交う地域の人達に積極的に声をかけ、募金をお願いしました。このボランティア活動に参加してくれたのは、次の生徒諸君らです。(敬称略)

- | | | | |
|----|-----|----|----|
| 藤澤 | 佐藤 | 高橋 | 渡邊 |
| 及川 | 佐々木 | 朝倉 | |
| 佐藤 | 高橋 | 高橋 | 遠藤 |
| 坂井 | 高橋 | 藤澤 | |
| 菅原 | 宇部 | | |

<順不同>



夕方の5時は、既に陽が沈み夕闇となる中、募金のボランティア活動への協力、大変ありがとうございました。

また、快く募金に応じて頂いた地域の皆さんにも感謝したいと思います。

森源太トーク&ライブ

本校PTA総務部の活動計画に位置づけた会員の懇親を深める会として「森源太トーク&ライブ」を企画、実施しました。10月4日(木)の5校時は生徒を対象(保護者も参加可)に、そして18:30からは保護者を対象にしたトーク&ライブでした。



森さんは不登校を体験しながらも、自らが求めることを常に追い求め歩んできたシンガーソングライターです。ギターを弾き始め、歌を作り始めたのは大学生の時、様々な苦難と努力を積み重ねて歩んできたことを独特の、そして熱い語り口で生徒諸君に投げかけて頂きました。このトーク&ライブで、夢を持つことの大切さと夢を達成するためには困難がともなうこと、困難に打ち克って生きていくことの素晴らしさを感じることができたでしょうか。生徒諸君からの御礼の全校合唱では笑顔で全身をつかって表現している様子が印象的でした。

次に生徒諸君の感想を紹介します。

○トーク&ライブで話や歌を聞いて、すごく感動しました。これからいろんな壁にあたるとは思いますが、このトーク&ライブを思い出して乗り越えていけたらいいなと思いました。

○このトーク&ライブを聞いて、親に感謝したいなと思いました。最後の歌にとっても感動して泣きそうでした。ありがとうございました。

○遙々遠くからお越し頂き、その上このような素晴らしい話、歌を聞かせて頂き大変ありがとうございます。今日もらった言葉を胸にこれからの人生を生きていきたいと心に誓いました。

○今まで高校に行って、大学に行って就職するという考えしかほとんどしていなかったのですが、源太さんがギターとの運命的な出会いをして人を楽しませることが生きがいになったように、自分にも天職が見つかるといいなと思いました。

○今日の話で自分の考えが変わりました。人にありがとうと言われて、自分が心の底からやりたいこと、仕事に出会えるように頑張りたいです。

○森さんの話を聞いて改めて“人生は一度しかない”と気づきました。辛いこととかあっても、頑張れる気がしました。最後の“命”という曲が一番心に残りました。本当にありがとうございました。



2020年度学習定着状況調査

2年生を対象に**岩手県学習定着状況調査**を10月3日(水)に実施しました。これは、2年生の9月までに学習した内容の定着状況を調査するもので国語・社会・数学・理科・英語で実施しました。中学校での学習のおよそ半分を終えた2年生のこの時期に、その学習の定着状況を調査することは、今後の学習取組への支援指導に大いに参考となるものです。



採点等を終わると個々に定着状況等を知らせることとなります。今回、明らかとなった学習内容が身につけていないところを是非とも補充しておく必要があります。授業でももちろんですが、家庭学習等においても自らの弱点をつくらないように補強補充を欠かさずに行ってください。

中学校生活後半に向けて、頑張ろう！！

衣替え 年度後半へ

10月1日(月)に**衣替え**を実施しました。猛暑の時は随分と遠くに行ったような感じのする今日この頃です。校舎の窓から見える風景は黄金に色づいた稲穂が揺れていたのが、今は刈り取られ収穫の秋となっています。校舎には文化祭を前に各学級、学年と合唱練習の歌声が響き渡っています。文化祭まで後20日も無くなり、追い込みに入っているところでしょう。



また、本日は生徒会役員選挙立会演説会が行われます。連日の朝、校舎昇降口

の前に立ち立候補の報告と支持を訴える姿があります。3年生から後輩へバトンが引き継がれていく日々です。

